

「自衛隊音楽まつり」リハーサル公演にて学生らを支援

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤 1 空尉）は、11月15日（水）、日本武道館で開催された「自衛隊音楽まつり」リハーサル公演に招待された中高生、東洋英和女学院大学や日本体育大学の吹奏楽部の学生・学校関係者ら75名を支援した。

公演が始まると学生たちは、大画面の映像や照明の演出に圧倒されている様子で、陸海空各音楽隊や在日米陸軍・米海兵隊・タイ王国空軍と演奏が進む中、参加者の多くが前のめりの姿勢となり、演奏者たちを写真や動画におさめていた。学生に馴染みのある「エヴァンゲリオン」や「シン・ゴジラ」の曲では、手拍子が出るなど演奏を楽しんでいる様子だった。

また、防衛大学校儀仗隊の統制されたファンシードリルや大人数での自衛太鼓の演奏には、一段と大きい拍手と歓声を送っていた。

公演後、音楽隊を道路の一つに考える学生は「本当に凄かったです。貴重な体験ができました」「ガッ」「良かったです。自分もなれるといいです」などと感想を述べていた。

市ヶ尾募集案内所は「自衛隊への理解をより深めてもらう良い機会となった。今後もイベント参加などの支援を通じて、志願者の獲得に繋げていきたい」としている。



「自衛隊音楽まつり」リハーサル公演の様子



演奏に聞き入る参加者



参加者たちでの記念撮影

「自衛隊音楽まつり」にて防衛大学校儀仗隊千明学生を激励



三宅 3 曹と防大儀仗隊所属の千明学生

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤 1 空尉）は、11月18日（土）、日本武道館で開催された「自衛隊音楽まつり」にて、防衛大学校儀仗隊所属の千明新（ちぎら） あらた 学生を激励した。

千明学生は、市ヶ尾募集案内所を通じて今年4月に防衛大学校に入校し、夏休みに募集事務所を訪れた際には、音楽まつりに出演するのを目標に日々練習に励んでいると広報官に話していた。

当日は、出演隊員を補佐するメンバーの1人として揃いのつなぎとキャップを被り、凛とした表情で先輩の指示を受け作業に奮闘していた。広報官が声をかけると「来て下さって嬉しいです。来年は出演しますね」と話し、恥ずかしそうに笑顔をみせるなど、緊張が少し和らいだ様子だった。

また、海自東京音楽隊所属の三宅 3 曹は、度々彼女の激励に訪れる広報官を見つけると挨拶に訪れ、快く記念撮影にも応じていた。

市ヶ尾募集案内所は「入校者の成長を感じることができ、有意義な激励となった。音楽まつりを陰で支える防衛大学校の学生たちや隊員の姿を、今後の募集広報活動で紹介していきたい」としている。

関東学院大学にて海上自衛隊幹部候補生学校長の講義を支援



講義に真剣に聞き入る学生



学生の前で紹介を受ける齋藤海将補

神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原 1 陸尉）は、11月20日（月）、関東学院大学（横浜市金沢区）にて実施された海上自衛隊幹部候補生学校長齋藤海将補の講義を支援した。

講義は毎年数回実施されており、今回は齋藤海将補を講師に迎え「海洋国家日本の平和と発展」をテーマに、大学生約200名が聴講した。

齋藤海将補は、国際情勢や海上自衛隊の役割などについてDVDを交えながら約1時間半にわたり講義し、学生たちは真剣な様子で聞き入っていた。

学生らは「海上自衛隊と中国軍との違い」や「自衛官をやっている一番良かったこと」更には「自衛隊の受験種目について」質問するなど、講義を通じて自衛隊に興味を持った様子だった。

上大岡募集案内所は「今後も学校と連携し、学生らに自衛隊PRする機会を積極的に支援し、募集成果に繋いでいきたい」としている。